

I. 広東省

1. 第11回中国（中山）設備製造業博覧会の開催

●12日～14日、上記博覧会が中山市の国際コンベンション・センターで開催された。レーザー加工は先進製造技術として、すでに広く製造業で応用されており、自動車、航空・宇宙産業、船舶等の分野にスマート高度化をもたらしている（12月12日付『南方日報』）。

2. 劉悦倫・省人代副主任が葡中友好グループ代表団一行と会談

●12日、劉悦倫・省人代常務委員会副主任が広州市でポルトガル議会葡中友好グループ代表団一行と会談した（12月13日付『南方日報』）。

3. 胡春華・省党書記が党支部の特別テーマ組織生活会に出席

●12日午後、胡春華・省党書記が組織的に属している省党弁公庁総合調査研究一処党支部を訪れ、特別テーマ組織生活会に出席し、支部の党員と「両学一做」学習・教育活動をしていく中での経験を話し合った（12月13日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記が何厚力（金偏に華）全国政協副主席と会談

●12日午後、胡春華・省党書記が広州市で何厚力（金偏に華）全国政協副主席（前マカオ特別行政区行政長官）と会談し、広東省とマカオの協力を更に深めることについて意見交換を行なった（12月13日付『南方日報』）。

5. 供給構造改革重点任務監督・指導会議の開催

●12日午後、省政府が上記会議を開き、朱小丹・省長が出席するとともに講話を行い、力の限りを尽くして本年の任務を達成し、来年の業務をしっかりと計画するよう強調（12月13日付『南方日報』）。

6. 省政協による特別テーマ協商会議の開催

●14日午後、王栄・省政協主席が主宰し、珠江西岸設備製造業の発展を加速させ、設備製造分野で強い省を建設していくことについて話し合った（12月15日付『南方日報』）。

7. 広東省と科学技術部が戦略的提携

●16日午前、北京市で省政府と科学技術部が第13次5か年計画期間における戦略的協力枠組みならびに業務協議制度設立に関する議定書に署名するとともに、2016年度・省業務協議会議を開催。胡春華・省党書記が署名に立ち会い、万鋼・科学技術部長、朱小丹・省長がそれぞれ科学技術部、省政府を代表し、議定書に署名し講話を行なった。王志剛・科学技術部党組織書記が協議会議を主宰。李萌・科学技術部副部長、袁宝成・副省長が関連活動に参加（12月17日付『南方日報』）。

8. 朱小丹・省長が章更生・建設銀行副頭取と会談

●17日、朱小丹・省長が広州市で章更生・建設銀行副頭取と会談するとともに、建設銀行と広東新岸線（Nufro n t）コンピューティングシステム・ICチップ有限公司の戦略的協力協定の署名に立ち会った（12月18日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 周亜偉・市党常務委員がオマーン・ドクム特別経済地区主席と会談

●11日、上記会談で周亜偉・市党常務委員は、広州市は南沙港からドクム港への航路を増やし、広州市が企業代表団を組織してドクム港の投資環境を視察に行く必要があると述べた（12月13日付『広州日報』）。

2. 2016年中国（広州）国際ドキュメンタリー映画祭が開幕

●12日晚、広州ドキュメンタリー映画祭組織委員会が広州図書館で歓迎レセプションならびに“カナディアン・ナイト”を開催し、このたびの映画祭に出席・参加した国内外からの来賓を歓迎した（12月13日付『広州日報』）。

●13日、国家新聞出版ラジオ映画テレビ総局、広東省政府共催の上記映画祭が広州図書館で開幕し、田進・同局副局

長、慎海雄・省宣伝部長、林積・省政府副秘書長、白潔・省新聞出版ラジオ映画テレビ総局長、徐咏虹・市宣伝部長、王東・副市長、各国からの来賓が開幕式に出席（12月14日付『広州日報』）。

3. 世界初のR-550D型ジャッキアップリグを納入

●16日、広州市南沙で中船黄埔文冲船舶が製造した世界初のR-550D型ジャッキアップリグ（甲板昇降型海洋掘削装置）が無事にシンガポールの船主へ納入された。この海洋掘削装置は国産化率が90%に達し、世界石油2015「未来をリードする」最優秀リグ技術設計賞を受賞した。このたび、この海洋掘削装置が無事に納入されたことは広州の海洋エンジニアリング・設備産業がハイエンド製造の新次元に入ったことを示している（12月17日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 2016年「一帯一路」自然環境保護国際ハイレベル対話が開幕

●11日午前、上記対話が深圳国際低炭素シティで開幕し、一部の「一帯一路」沿線国家、国際組織のハイレベル代表、国家関連部門・委員会、機関、企業代表200人余りが「自然環境保護、グリーン“一帯一路”建設の推進」というテーマをめぐって、グリーン発展の理念と実践について意見交換し、その協力について話し合った。翟青・環境保護部副部長、エリック・ソルヘイム国連環境計画事務局長、タジキスタン環境保護委員会委員長、マルコ・ランベルティエーニ世界自然保護基金（WWF）事務局長、許勤・市長等が開幕式に出席（12月12日付『深圳特区報』）。

2. 中光工業技術研究院、中村修二青色LED実験室の開設

●13日午前、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、中村修二教授（2014年ノーベル物理学賞受賞者）が深圳市中光工業技術研究院、中村修二青色LED実験室を開設した。馬書記は中村教授に研究院の名誉理事、学術委員会主任、中村実験室主任の任命書を渡し、許市長が市政府を代表し挨拶を行なった（12月14日付『深圳特区報』）。

3. 「緑航星際」（大型宇宙科学実験プロジェクト）のテストが無事に終了

●14日午前11時20分、深圳市宇宙科学技術南方研究院で、唐永康さんら4人の志願者による180日の有人閉鎖環境滞在試験の各テスト任務が滞りなく完了し、4人は無事に実験モジュールを出た。馬興瑞・市党書記、許勤・市長がそれぞれテスト成功を祝うメッセージを送った（12月15日付『深圳特区報』）。

4. 何忠友・副省長が深圳市の貿易状況を視察

●16日、何忠友・副省長が省監督・指導グループを率いて深圳市を訪れ、同市の関連部門責任者とともに、第4四半期の貿易の安定的な回復を促進するための監督・指導会議を開催。陳彪・副市長が出席。同市の本年1月～11月の一般貿易における輸出入は4.2%増となっている（12月17日付『深圳特区報』）。